

(2面から続く)

基づく報告書の活用は改めて
いただきた。県は平成十九
年度から二十年度にかけて地
震被害調査をあらためて実施
し、その結果を踏まえ平成二
十一年度地震防災戦略を策
定する予定になっていきます。
報告書を活用するならば、こ
ちらにすべきではないでしょ
うか。そして、そのうえで地
震ハザードマップの作成計画
を今後どのように進められる

市民目線の組織編制を！

佐藤議員(政和会)
市内の組織体制について
市役所を利用する市民から
見た場合に、この窓口に行
っていいか分かりづらく、縦
割り行政の弊害で、たらい回
しに遭うといったこともあり
ます。そういった弊害を取り
除いた市民目線から見た組織
体制の確立が求められていま
す。市民総合窓口の設置やフ
ロアマネジャーの配置、一つ
の窓口で用事が済むワンスト
ップサービスの実施など、市
民から見てわかりやすく、利
用しやすい組織編制の考え方
について伺います。
また、市職員の中にはさま
ざまな免許や資格、技能・特
技などを持った方がいらっし
やいます。現在、こういった
情報の集約はしていません。
情報を人材バンク的に登録し、
全庁的に職員間で共有できれ
ば、より市民サービスの向上
が図られ、効率的な行政執行
ができるようになると思えま
すが当局の所見を伺います。
企画財政部長 フロアマネ
ジャーによる手続きの案内、
各課・係にまたがる申請書の
統一、組織編制に伴うワンス

の当局に伺います。

市民部長 地震防災マップ
等は地震ハザードマップのこ
とです。また、議員ご指摘の
ように、神奈川県が平成十九
年度から二十年度にかけて地
震被害調査を実施した結果に
基づく情報を活用したいと考
えております。さらには、さ
まざまな情報を取り入れなが
ら地震ハザードマップ作成の
時期等を検討していきたいと
考えています。

トップサービス、こういった
総合窓口に対する改善手法に
ついて、市内窓口担当でプロ
ジェクトチームを編成し、引
き続き検討を進めていきたい
と考えています。
総務部長 共有化された情
報を各業務へ反映させていけ
ば、職員のやる気や技術の醸
成、さらには持続可能な意識
改革や意識向上が図られると
考え、職員に蓄積された経験
やノウハウ、資格、免許など
を整理し、人材の情報を市役
所全体で共有し活用できるよ
うな仕組みを作っていきたい
と考えております。
稲垣議員(公明党)
地域活性化・経済危機対策
臨時交付金の活用について
政府与党は、この冬
日本経済の底割
れによる経済危
機対策として、「地域活性化・
経済危機対策臨時交付金」総
額一兆円の補正予算を国会で
成立させました。この補正予
算は、各自治体の地域実情に
応じた事業を対象としており、
本市においては、約二億八千
七百万円になると公開されて

上沢議員(公明党)

環境への取り組みについて
地域グリーンニューデ
ィー基金の活用については、緊
急経済対策の側面もあること
から地域の活性化と地域にお
ける環境対策を同時に進行で
きるチャンスであると捉
えています。あわせて雇
用の促進ということも考
えれば、スピードが大事
です。一日でも早く事業
化して執行することが重
要であると考えています。こ
のことは地域グリーンニ
ューデュー基金の活用
だけにどまりません。
あらゆる基金を活用して
この百年に一度の経済危
機を乗り越えていかなけれ
ばなりません。そのために
は、考えられること全てに手
を打っていかねばならな
いと考えます。

政府も太陽光発電設備設置
への助成、エコカー購入補助
や減税、エコポイント制度の
いいます。
この臨時交付金活用につ
いては、安全・安心のための救
急体制整備として、毒性と感
染力が非常に強く、この冬全
世界に猛威を振るうと専門化
が警鐘している「新型インフ
ルエンザ」対策への活用を強
く要望します。
内閣府の罹患率は、全人口
の二五％で四人に一人が感染
すると言われており、この罹
患率を本市に当てはめた場合
三万二千人の市民が感染する
こととなります。本市におい
て、何よりも市民の安全・安
心のために今からの準備が必
要です。もし感染しても、

スピードが最も大事！

導入など環境政策でも経済対
策・景気浮揚対策を行って
ます。
今こそ職員の皆さんも日頃
の行政経験を生かして知恵を
絞っていただきたい。そして、
どんどん新しい政策・事業を
提案して下さい。我々議
員もどんどん提案してい
きます。そしてこの経済
危機を乗り越えるためのキ
ーワードは、スピードで
す。スピードが最も大事
になります。また、市民
の生活を守り、少しでも
経済や雇用対策になるの
であれば、次の議会を待
つまでもなく何回臨時議
会を開催しても構わない
と考えています。市長のこ
見を伺います。
市長 緊急経済対策の取り
組みについては、血税を投入
した事業です。積極的な対
応を指示しています。必要に
応じ議会の議決をお願いする
場合もあると思います。

守谷議員(日本共産党)

生活環境の整備について
第一に、相模原二ツ塚線の
相模が丘六丁目隣接する部
分の用地買収が遅れていま
す。危険な状況を一日
も早く解決してほしいと
多くの方からの声が寄せ
られています。進捗状況
等の問い合わせがあった
場合は、知らせるべきだ
と考えています。市長のこ
見を伺います。
第二に、行幸道路の相
模が丘一丁目地域の歩道
は全体的に歩道の舗装が
悪い箇所が多くあり、歩
道自体で上り下りのある状
況です。市として歩道の整備等
を早に要望すべきであると思
います。青年の遊び場の設

置についてお尋ねします。県
の栗原遊水池にはスケボー場
が、また、緑ヶ丘一丁目の遊
水池にはバスケットゴールが
あります。相模台東小学
校の南側の遊水池は、ど
れくらいの回数で水が入
り込んでくるのでしょうか。
あまり水が入ってこ
ないのであれば、栗原遊
水池や緑ヶ丘遊水池のよ
うにスポーツ利用を検討
すべきであると考えてま
す。市長のこ見を伺います。
第四に、日産自動車相
模寮跡地の西側道路は夜
道を暗く危険です。防犯
灯を設置すべきであると思
います。市長のこ見を伺います。
都市部長 二ツ塚線につ
いての問い合わせがあればお答
えしていきます。行幸道路の

道路整備及び遊び場の設置を

地区の社会福祉協議会、民生
委員の方々等との連携を図り
ながら、介護ボランティアの
方々が住む地域の中で、高
齢者の方々の交流の場づくり
などを展開していくことが介
護の観点からも重要で
あり、望ましいと思えま
す。
市は、これまでの講座
や研修を生かした介護ボ
ランティアの支援育成を
積極的に進めるべきと考
えますが、今後の方向性
について伺います。
保健福祉部長 現在、
介護ボランティアの方々
には、市が行う介護予防
教室のスタッフや、地域
における自主グループの立ち
上げ等の補助をしていただ
いています。今後は、補助研
修や市が行っている事業等
の足を重ねていただく中で、
地域の展開へと進められるよ
う、お願いしていく考えです。

歩道整備については、相模原
土木事務所に要望してまい
ります。
上下水道部長 ご質問の遊
水池には二カ年で四回程雨水

沖永議員(民主・市民連合)
介護保険地域密着型サービ
スにおける市の指定手続きに
ついて
三月定例会では数々の法令
違反、指定基準違反を繰り返
してきた小規模多機能型
居宅介護事業所に対して
その問題の究明や責任の
所在が不明なまま補
助金支出が議決されてし
まいりました。一方、我々
以外のみならずも市の指
導監督については厳しい
指摘をされていましたが、
事業所に対する市のチェ
ック機能が、全く機能し
ていなかったことが最も
深刻な問題です。
座間市内の小規模多機能型
居宅介護事業所のうち二つは、
開所後に指定決定が行われて
います。この手続きは不適切
な事務であったと認めるのか
どうか、どこが間違っていた
のか、明らかにしていただき

まちがった市の手続きを問う
ことであることから、減算対
象とはしていません。一連
の問題に関しては、不適切な
処理があったことは誠に遺憾
と思っております。皆様にご
迷惑をおかけしまして申しわ
けありませんでした。
保健福祉部長 指定手
続きについては、本来、
指定日以前の受付が正し
いものであり確かに不適
切でありました。介護支
援専門員の不在について
は、基準違反となること
から、減算措置四月分を
通知しました。研修未修
了も減算対象ですが、こ
れは申請時における担当
者の認識不足から招いた
ことであることから、減算対
象とはしていません。一連
の問題に関しては、不適切な
処理があったことは誠に遺憾
と思っております。皆様にご
迷惑をおかけしまして申しわ
けありませんでした。

自治委員長制度の復活を

吉田議員(明政会)
市長の政治姿勢について
昭和四十年当時、本市に非
常勤特別職の自治委員長制度
がありました。これは自治会
長が自治委員長になるとい
う制度でしたが、行政が自治会
に介入するのはおかしいとい
うことで、昭和五十五年に制
度が廃止されました。
先日、座間市自治会連絡協
議会の総会があり、副会長に
委任状を持つての代理出席を

積極的なボランティアの支援育成を

市は、これまでの講座
や研修を生かした介護ボ
ランティアの支援育成を
積極的に進めるべきと考
えますが、今後の方向性
について伺います。
保健福祉部長 現在、
介護ボランティアの方々
には、市が行う介護予防
教室のスタッフや、地域
における自主グループの立ち
上げ等の補助をしていただ
いています。今後は、補助研
修や市が行っている事業等
の足を重ねていただく中で、
地域の展開へと進められるよ
う、お願いしていく考えです。